



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



いろいろ

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 鈴木 善作
幹事 高橋 辰美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 784 号 1974. 12. 20 (金) (曇) No.25

❖出席報告 (20日)

本日の出席

会 員 数 68名
出 席 数 54名
出 席 率 79.41%

前回の出席

前 回 出 席 率 85.29%
修 正 出 席 数 62名
確 定 出 席 率 91.18%

欠 席 者

阿宗君、風間君、山本(正)君、石井君、小花君、大川君、中江君、齋藤(信)君、谷口君、津田君、上野君、鷺田君、藪田君、高橋(辰)君

マークアップ

風間君—東京南R・C
安藤君—酒田R・C
阿部(公)君、五十嵐(三)—鶴岡西R・C

❖出席報告 (24日)

本日の出席

会 員 数 67名

出 席 数 48名
出 席 率 71.64%

前回の出席

前 回 出 席 率 79.41%
修 正 出 席 数 60名
確 定 出 席 率 88.24%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、張君、山本(正)君、進藤君、高橋(良)君、上林君、中野(重)君、吉野君、菅君、大川君、齋藤(信)君、笹原君、佐々木君、上野君、藪田君、菅原君、黒谷君、田中君

マークアップ

藪田君—新潟R・C
風間君、山本(正)君、小花君、中江君、高橋(辰)君—鶴岡西R・C

❖ビジター

原田行雄君、佐藤拓君、羽根田正吉君—鶴岡西R・C

❖点 鐘 12:30 鈴木会長

❖ロータリーソング われ等の生業

会報はご家族みんなで読みましょう

◆ビジター紹介 S・A・A

◆会長報告

◆幹事報告

本ロータリークラブのシニアアクティブ会員の石井貞吉さんが去る12月10日私宅に來られ、退会届(私事永年御世話になりましたが身体の都合で誠に勝手ですが退会させていただきます度々御願いたします)を出されました。

昭和49年12月10日

鶴岡ロータリークラブ会長

鈴木善作様

尚、ロータリー財団にと1万円持って來られましたので本日理事会にかけ承認されましたので大変残念ですが御報告致します。

それで会員増強委員会の皆様に今年度の増強目標達成に最大の御努力を御依頼申し上げます。

昭和49年12月17日

クラブ会長殿

ロータリーの友編集事務所

ロータリーソング委員会

委員長 安野 謙 次

◆ロータリーソングについてのお願い

講啓 時下益々ご多祥のこととお慶び申し上げます。

先きに各クラブよりお寄せいただきました「ロータリーソングについてのアンケート」を集計しましたところ、永年、ロータリアンの皆様に親しまれてきた「奉仕の理想」と「我等の生業」の現行の歌詞の他に現代にマッチした新しい歌詞を——というご要望が多数ありました。

そこで当委員会では、この2曲のメロディに合わせて、ロータリー精神を盛り込んだ明るくて近代的な歌詞(各曲とも一番だけ)を広く会員の皆様より募集することにいたしました。

ロータリーの70年の歴史と世界に友好の輪を広げるわれらのロータリーにふさわしい歌詞をお寄せ下さるよう、貴クラブ会員の皆様にご披露いただきたくお願い申し上げます。

メ切日 昭和50年1月末日

送り先 東京都千代田区丸の内3の4

日石ビル

ロータリーの友編集事務所

ロータリーソング係

なお、選考の結果、入選作(各曲とも1曲)は「友」誌上に発表し、現行の歌詞とともに新版「ロータリーソング楽譜集」に紹介いたします。また、該当作なき場合は、次の機会にいたします。

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君、山本隆男君、

津田晋介君

“国際奉仕の真の意義とロータリー

国際奉仕の進めかたについて”

1969年の7月に、人間が初めて月の表面に着陸しました。その宇宙飛行士の同乗者達が暗黒の宇宙の大海に浮かぶ地球の姿を見て、“我々は地球上に同じく生存している者として、一番最初に、全人類の住家を見ました”と喜び合いました。なるほど、地球を巨大な乗物に解釈すれば、我々全人類は、地球上の同乗であります。

この一つの天体を共同の住家とする、(1)我々全人類のなかよい結合(結束)がいかに重要であり、(2)全人類の相互依存(お互いに他によりかかって存在すること)の認識、(3)各国間の善意と、(4)寛容(寛大でよく人をゆるしいれる)であることと、(5)よりよき理解がどれほど重大なものであるかを自覚させられたと云っています。

この(1)から(5)までの5ヶ条を強調し、解決する奉仕こそが、**国際奉仕の真の意義**であります。**国際奉仕の要点は、(1)各自が自覚すること、(2)実際に、役立つ善意と、(3)平和と、(4)理解の増進をはかること**なのです。

国際奉仕は、社会奉仕の範囲を拡大したものと云えます。それは、我々各自の地域内の人々の必要に対する奉仕を更に延長させて、地球に住む人類の一つの大きい世帯に対する奉仕であるからであります。

宇宙飛行士達の見た宇宙の大海に浮かぶ天体の数は、我々が夜、(1)星が沢山見えるよりも多いものと云っています。その中の一つの、(2)われわれの住む天体の地球は、それらの天体の中でも一番小さいものの一

つなですと云っています。

(3)その一番小さい天体の地球が私達、全人類の住家なのです。その全人類の住家中には、非常にバラエティ（多様性）に富んだ種族が住んでいます。けれども、(1)全人類の生活の向上と、(2)生活の安定、(3)または、各方面からの要求は、皆相互依存の関係にあります。人間は皆(4)大自然の恐しさを知っています。(5)人間が多過ぎれば多い程に、空腹の苦しさを味わっているのです。

又一面、(6)愛し合う喜びを知り、(7)家族の温かさを知り、そして、(8)各国語を通じて音楽、(9)芸術を通じてよろこび、(10)真理の探究に、(11)新しいものの発見に、(12)共に生きてゆく意義を深め合っているのです。(13)人間は大自然を己が意志と力で変形させることが出来、(14)原子核を分裂させて、(15)その学問の秘密をさぐり、(16)月の世界へまでも人間を送って、その探検意慾を燃やしていることが出来ましたが、しかしながら人間自体のなぞを解くことは余り進歩していません。

例えば、(1)人間同志の争いや衝突の真の原因を把握し得ずにあります。(2)せいぜい、進歩のあとが見える位のものでした。(3)善意の人々である、ロータリアンの皆様は、『奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること』という、①ロータリアンの目的達成に活躍できるのです。この活躍は、法外（程度）を越えた仕事のように、お思いになるかも知れません。けれど、ロータリアン達は、②過去半世紀にわたり、いろいろな分野で、簡単なが、実際に役立つ方法でもって、混乱の世界にあった平和の使徒（神聖な事業に献身する人々）として、活躍してこれたのであります。ですから、程度を越えた仕事ではないと思います。

皆さんも、先ず、国際奉仕の第一歩として(1)海外のロータリアンと個人的な文通を始めて下さい。(2)出版物や、(3)録音テープ、(4)カラスライドによって①プログラムや、②情報を交換し合っているクラブが多数あります。

もしも、(5)海外からの、お客様が皆様の

クラブを訪問されたならば、(6)地域社会や、(7)各自の職場へも案内して上げて下さい。

そして、もしも、皆さんが海外へ旅行される場合は、(8)ロータリアンの襟章は、345地区（何千もの地域で）の友情の旅券となりますから、ロータリアンの襟章をつけることを忘れないで下さい。ロータリアン達は、また、開発途上の国々へ行って、(9)彼らの専門知識や(10)技術をわかち合い、小さな企業の店や工場を訪問して、(11)運営面の相談に応じています。又、何百ものロータリアン地域に、(12)世界社会奉仕によって提携を結んでいます。

このプログラムでは、①ロータリアンクラブが海外で困っている地域社会へ、その他のロータリアンクラブを通じて援助の提供をしているのです。世界社会奉仕は、②たとえば、大太平洋をへだたてた遠い彼方の地域社会の問題も、自分の地域における問題として援助するものです。③米国の中央事務局には、その世界社会奉仕計画の資料調整室が設置されています。援助を要望しているクラブと援助提供を志望しているクラブとの媒介の役割を果たしているのです。

では、一体、どんな援助が提供されているのでしょうか、④これを具体的に述べますと、①'各種の器具類、②'技術訓練、③'医薬類、④'書籍、⑤'食糧、⑥'資金、⑦'更には、実地に赴いて活動するロータリアンのチームまで含まれています。⑤その典型的な活動には、①'アフリカのナイジェアの空飛ぶお医者さんのために贈られた無線ラジオ装置があります。②'インドでは、身体障害者のための義手、義足の製作に、③'その道の専門家が実地指導に当たっています。④'韓国では、住宅建築に用いられる、れんがを作る器具の援助を受けたり、⑤'東南アジアの一農村では、保健婦となる若い女性達はその訓練を受けています。

⑥'若い人達の訓練においても、国際理解の増進に大きな貢献をしています。

⑦'毎年、数千に及ぶ青年男女がロータリアンの青少年交換活動によって海外へ飛び立っています。(13)ロータリアン青少年交換活動の特長は、海外諸国においても、各自の地

域に居るのと同じように、①ロータリアンの監督、世話を受けることであります。

(14)又、皆さんは、ロータリアンとして、**ロータリー財団**を支援できます。①**財団の目的**は、世界諸国民間の①'理解と②'友好関係を増進させることにあります。②毎年、ロータリー**財団の活動**は、数百名の青年男女に、外国で、①'大学院課程、②'大学課程の勉強をする奨学金を授与し、又③'専門的技術の訓練、④'研究グループの交換、⑤'身体障害者の教師の留学などに、補助金を授与し、これらの奨学金や補助金を受けた人達は、皆、親善使節としての役目も果たしているのであります。

約4世紀前に、イギリスの詩人、ジョン・ダンは、『人間は誰一人として、万能で独立した島にいることはできない』と書き残しています。種族、宗教、文化を異にする、全ロータリアンの一人一人の努力を尊ぶのは、この精神によるものであります。その意味で、ロータリアンの皆さんは、全人類の世界平和実現のために寄与できるのです。

現代の詩人、アーチボルド・マックリシンの言葉によりますと、『永遠の静けさの中に浮かぶ小さな、青い、美しい1個の天体として、われわれの地球をそのあるがままに、美しく眺められることは、今迄に、地球上に住む、我々全人類の兄弟姉妹の親善、平和、理解のよさによるものだ。と、やっと地球上の全人類が、我々の真の兄弟姉妹であることを覚り、そして、やっと我々、全人類は地球上の同乗者だと云うことを覚りました。』と云っています。

以上を要約すれば、国際奉仕も又、常に新しい視点に立って奉仕することが大切であります。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。